

工高生による木造住宅の簡易耐震診断

これまでの活動内容

京都大学経済研究所丸谷研究室が1月に河原町地区を対象に行ったアンケートの中で耐震診断の希望があったお宅(34件)を対象に河原町自治会役員)とその都度相談しながら決めていきました。決定に当たり課題研究が毎週木曜日の午後なので、その時に在宅されていることなどの制約があり、多くが商売を営まれているお宅が多くなりました。

4月～6月——基礎

・基礎理論の学習、耐震診断実地調査の演習

・まち歩き 滋賀県立大学環境科学部柴田研究室・滋賀県土木交通部住宅課・滋賀県建築士会彦根支部

・特別講義「耐震調査の必要性」 滋賀県立大学柴田教授

6月～12月——実測

・全国市民活動まつり'06(神奈川県平塚市)

・現地調査 宇水理髪館、北村邸、鳥羽や、小西邸、御料理小島、「街の駅」寺子屋・力石(計6軒)

宇水理髪館

彦根で初めてベルギー製のタイルやカットガラスを使った店舗モダンな洋館の理髪館。



左：理髪館内の実測
右上：店主から説明を受ける
右下：県庁職員から手ほどきを受ける

北村邸

大正時代に平家建ての貸し座敷として建てられた。後に2階を増築し、御神造りになっている。



左：玄関の実測
右上：ベアで実測
右下：実測後のミーティング

鳥羽や

創業明治13年。現在彦根に於いて一番古い老舗旅館。玄関には、当時のままの古い暖簾が飾られている。



左上：玄関部分の実測
左下：実測を終えて
右：階段部分の実測

「街の駅」寺子屋・力石

江戸後期より寺子屋であった町家を改修し、その精神を現代に復活させている。

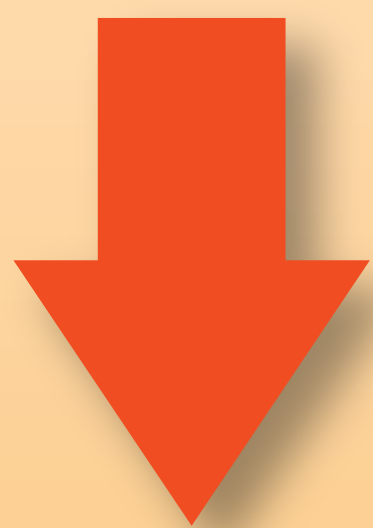


この建物はこれまでの実測に加え、部材寸法、柱の傾き、沈下量も調査した。

左：梁のたわみを測定
右上：柱の沈下量を測定
右下：小屋裏の実測

12月～1月——図面化、診断

・これまでの実測に加え、部材寸法の調査も行い、CADソフト、耐震診断ソフトへ入力。



・その結果、6軒の診断宅すべてが、「倒壊する可能性が高い」と判定された。

実際には「一般耐震診断法」で診断するが、建物自体は伝統構法のため必ずしも正しい評価にはならなかった。